

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月22日 (2009.1.22)

【公表番号】特表2002-535285(P2002-535285A)

【公表日】平成14年10月22日 (2002.10.22)

【出願番号】特願2000-594485(P2000-594485)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月27日 (2008.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 自己免疫疾患の処置のための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 2】 B 細胞リンパ増殖性障害の処置のための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 3】 前記 B 細胞リンパ増殖性障害が癌である、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】 患者における B 細胞増殖を阻害することによって自己免疫疾患を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 5】 患者における免疫グロブリンの産生を阻害することによって自己免疫疾患を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 6】 患者における B 細胞増殖および免疫グロブリンの産生を阻害することによって自己免疫疾患を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 7】 患者における B 細胞増殖を阻害することによって B 細胞リンパ増殖性障害を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 8】 患者における免疫グロブリンの産生を阻害することによって B 細胞リンパ増殖性障害を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 9】 患者における B 細胞増殖および免疫グロブリンの産生を阻害することによって B 細胞リンパ増殖性障害を処置するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 10】 前記 B 細胞リンパ増殖性障害が癌である、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 11】 免疫学的疾患および癌を処置するために免疫系を操作するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用であって、該操作は、患者における B 細胞増殖の阻害である、使用。

【請求項 12】 免疫学的疾患を処置するために免疫系を操作するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用であって、該操作は、患者における免疫グロブリンの産生の阻害である、使用。

【請求項 13】 前記操作が、患者における B 細胞増殖および免疫グロブリンの産生の阻害である、請求項 11 または 12 に記載の使用。

【請求項 14】 患者における B 細胞増殖を阻害するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 15】 患者における免疫グロブリンの産生を阻害するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。

【請求項 16】 患者における B 細胞増殖および免疫グロブリンの産生を阻害するための薬学的組成物の調製のための、可溶性 B A F F リガンドに特異的な抗体または該抗体の活性なフラグメントの、使用。